

# 大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2015年12月9日（水） 17：00～18：30
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 倉嶋 敏明 先生
- ◆ 演題： 天然歯・義歯・インプラントの共存～欠損形態の改変と補綴的補完医療～
- ◆ 要旨： 従来は固定性補綴を前提として議論されることが多かったインプラント治療だが、近年一つの治療の方向性として、中等度から多数歯欠損症例に対するインプラントを併用したパーシャルデンチャー (Implant Assisted Removable Partial Denture以下IARPD)に視線が向けられ始めている。  
現在日本における高齢化は著しく、未だ中等度から多数歯欠損症例に対する義歯治療の比率は高い。しかし日常臨床では義歯で補綴治療を行ったとしても対合関係によってはさらなる崩壊への転落を抑制できない場合もあり、可撤性補綴の限界を痛感する場合も少なくない。進行して行く崩壊に歯止めをかけるため、義歯とインプラントの利点が互いに支え合う利用法も一考の価値がある。  
インプラントと義歯の併用について、無歯顎への応用（いわゆるインプラントオーバーデンチャー以下IOD）は2002年McGillコンセンサスミーティングでの提言後臨床報告が散見される一方、天然歯・義歯・インプラントが共存するIARPDについては後発的な手法のため未だ認知度は高いとは言えない。しかし臨床現場では難症例への欠損形態改変のため、実際のところIARPDは徐々に積み重ねられているのである。  
天然歯・義歯・インプラントの共存での欠損歯列改変を補綴的補完医療と捉え、皆様とこれからのインプラント治療／補綴治療の幅を考えていきたい。

（問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954）

※「口の難病」Open教室会も兼ねます